



公立大学法人
国際教養大学
Akita International University

2021年 オンラインコース シリーズ

無料

英語指導法・スキルアップ

主催：アメリカ大使館

提供：国際教養大学専門職大学院英語教育実践領域

- 国際教養大学によってすべてオンラインで提供されます。
- 対象は日本人の中学校・高等学校の英語教師です。
- 期間は4週間、約20時間の活動時間が必要となります。
- 講座は全員が同時に受講するものではないため、受講者は自分のペースとスケジュールに合わせて課題に取り組むことができます。
- スケジュールや興味によって、1コースから登録することが可能です。
- コースを修了した方には、国際教養大学から修了証が授与されます。
- すべてのコースはアメリカ大使館からの援助により無料で提供されています。



英語教師のためのテスト作成と評価

Test-making and Assessment for English Teachers

- インストラクター：
Dr. James Sick (テンブル大学ジャパンキャンパス大学院教育学研究科)
- 実施期間：2021年3月1日(月)～3月28日(日)
- 応募フォーム **応募締切り：2月26日(金)**
<https://business.form-mailer.jp/fms/d62081a5136027>



言語テストの作成と評価はすべての教師に必要なことです。このコースでは、最初に評価理論の基本概念を学ぶことによって、テスト作成のスキルを高めます。そして、リーディングとリスニングのための選択式の問題と短文で答える試験問題や、スピーキングとライティングのためのルーブリックを用いて、テスト全体の設計を学びます。

最後に、創造性や受容力を統合すると言われているディクテーションと読書能力を診断するためのテスト(cloze test)の2つの方法を考察します。

資料と講義に加え、参加者の皆さんには、他の参加者の方に向けて発表するテスト問題を作成していただきます。



言語教師のためのアクティブ・ラーニング

Active Learning for Language Teachers

- インストラクター：
Dr. Chris Carl Hale (国際教養大学)
- 実施期間：2021年3月1日(月)～3月28日(日)
- 応募フォーム **応募締切り：2月26日(金)**
<https://business.form-mailer.jp/fms/36ea726b136026>



教育界で注目されている言葉の一つに、「アクティブ・ラーニング」があります。アクティブ・ラーニングは「生徒たちが受動的に知識を得るのではなく、学習過程にかかわることで彼らの好奇心・やる気を育てることができる」という考えが基になっています。

生徒の自発性や経験の重視を目的とした考えと同じく、学びとは何か、自主的学習とは何かを、実際の教育現場に新しいアイデアとして持ち込むことに多少の難しさはあるでしょう。

このコースでは、プロジェクト・ベースの言語学習(Project-Based Language Learning, PBLL)を例として、どのようにアクティブ・ラーニングが行われるかを紹介します。参加者の皆さんには、実際の教室で試したいPBLLアクティビティのデザインをしていただきます。

異文化間コミュニケーション概論

Introduction to Intercultural Communication

- インストラクター：
Ms. Chrystabel Butler (クイーンズランド大学、オーストラリア)
- 実施期間：2021年6月28日(月)～7月25日(日)
- 応募フォーム **応募締切り：6月25日(金)**
<https://business.form-mailer.jp/fms/208df071136028>



労働環境の急激な国際化により、日本の若者にとって異文化間コミュニケーション能力の成長は重要な課題の一つです。中でも言語能力は必須要素であると同時に、言語の使い方自体が重要なスキルとなってきます。

適切なコミュニケーションには、「人々が何に価値を見出すのか」、「関係性やコミュニケーションのスタイルによってその価値をどのように表現するのか」、そして、「どのように違いを解決するのか」ということについて理解することが含まれます。

文化がコミュニケーションにどのように影響するのかを理解することは、私たち自身の文化様式だけではなく、他の文化様式の受け止め方にどのように影響するのかを理解することです。

このコースでは、文化がコミュニケーション様式や価値観、信念、論理や争いごとの解決方法にどのように影響を及ぼすのかについて学びます。体験型のアクティビティや探究を通して自分自身の文化様式についての自己認識を高めていただきます。

TOEFL iBT® の指導法

Teaching the TOEFL iBT®

●インストラクター:

Dr. James Sick (テンブル大学ジャパンキャンパス大学院教育学研究科)

●実施期間: 2021年7月26日(月)~8月29日(日)

※8月9日~15日を除く

●応募フォーム

応募締切り: 7月23日(金)

<https://business.form-mailer.jp/fms/9bc2a713136029>



文部科学省が発表したTOEFL iBT®やIELTS、英検といった民間の英語4技能試験を大学入試試験として導入するという計画があります。

その計画は現在保留となっていますが、ほとんどの教員は、それらの試験を生徒が受験する日のために準備をされています。TOEFL iBT®の受験はアメリカで学ぶことを希望する外国人学生にとって必須であるにもかかわらず、TOEFL iBT®に精通している日本人英語教師はほとんどいないのが現状です。

このコースでは、スピーキングとライティングセクションに重点を置き、TOEFL iBT®の構造について学びます。また、TOEFL®の模擬テストの問題を練習し、試験で成功するための問題の解き方や、中学生や高校生にTOEFL®を教える方法について学んでいただきます。

一般の高校で認定教科書として広く利用されている教科書を使って、TOEFL®のためのスキルや解き方を紹介したり、伸ばしたりするための方法を探していただきます。

英語教師のための言語スキル向上

Language Skills Brush-Up for English Teachers

●インストラクター:

Dr. Chris Carl Hale, Mr. Joe Sykes (国際教養大学)
& Mr. Joachim Castellano (愛知県立大学)

●実施期間: 2021年8月2日(月)~8月29日(日)

●応募フォーム

応募締切り: 7月30日(金)

<https://business.form-mailer.jp/fms/c3575a9e136030>



授業中の英語の使用が重視されるにつれ、十分な英語スキルを身に着けていない先生方は、自身の英語力に不安を感じたり準備不足のように感じられているかもしれません。また、英語で行われる授業を有意義なものにしていくためにも、英語スキルに自信を持っておきたいものです。

このコースでは、様々な技能向上のアクティビティを通して、専門的英語スキルへの自信をつけていただきます。

注: 本スキルアップ講座の内容は、以前行われた講座内容とは異なります。本講座の受講のために以前開講された講座を受講していただく必要はありません。また、以前のスキルアップ講座を受講された先生方は、今回の講座で新たな内容を体験することができます。



特別支援を必要とする生徒に対する英語指導法

Teaching English to Students with Special Needs

●インストラクター:

Dr. Chris Carl Hale (国際教養大学)
& Dr. Satoko Ono (秋田看護福祉大学)

●実施期間: 2021年8月30日(月)~9月26日(日)

●応募フォーム

応募締切り: 8月27日(金)

<https://business.form-mailer.jp/fms/cc1fc229136031>



文部科学省はコミュニケーション・ランゲージ・ティーチング (communicative language teaching, CLT) を重点に、文法教育において生徒のコミュニケーション能力を重要視しています。

教育改革が行われる環境下では、ディスレクシアやADHDといった学習障害を持つ生徒が「社会的相互作用や進んでコミュニケーションを行うシステムの中でどのように適応させることができるのか」ということが見過ごされてきました。

日本では、特別支援を必要とする生徒たちを他の生徒と分けて指導することもあります。しかし近年の共生教育の一環として特別支援を必要とする生徒たちも、通常学級で他の生徒と共に学ぶ機会が多くなり、それぞれの学習に対する困難さへの配慮がないままに言語学習が行われています。

このコースでは、英語教師が学習障害を持つ生徒に対して最適に授業を行う方法についての概要を説明し、すべての生徒にとって生産的で有益な学習環境を確保する方法を紹介します。

※このコースでは、英語と日本語の講義が混在します。

アメリカの大学と文化

American College & Culture

●インストラクター:

Dr. Chris Carl Hale & Dr. Patrick Dougherty (国際教養大学)

●実施期間: 2022年2月28日(月)~3月27日(日)

●応募フォーム

応募締切り: 2月25日(金)

<https://business.form-mailer.jp/fms/5ec8965c136032>



アメリカに留学することに興味を持つ生徒のためには、アメリカの大学の学術文化を理解することが必要です。

このコースでは、日本とは大いに異なるアメリカの教育モデルで成功するために必要な学術的な重点を紹介し、アメリカの大学での経験を模擬体験していただきます。扱われる題材は批判的思考や推論、議論、討論を含みます。

このコースは生徒たち(もしくはご自身)がアメリカのリベラルアーツ型教育の中で成功する手助けになるでしょう。また、先生方が国際教養大学のようなアメリカのリベラルアーツ型教育を追求する日本の大学をより理解することにも役立つでしょう。

お問い合わせ先(メールでお問い合わせください)



英語指導法研修プログラム事務担当: 小野、ヘイル

E-mail: ettp@gl.aiu.ac.jp Tel: 018-886-5805

※お電話の場合、留守番電話の時は電話番号、お名前をメッセージに残してください。

<https://coil.aiu.ac.jp/>